



## 平成27年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月2日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 セブン&アイ・ホールディングス

コード番号 3382 URL <http://www.7andi.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 最高執行責任者 (氏名) 村田 紀敏

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員IR部シニアオフィサー (氏名) 松本 忍

TEL 03-6238-3000

四半期報告書提出予定日 平成26年10月10日

配当支払開始予定日

平成26年11月14日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年2月期第2四半期の連結業績(平成26年3月1日～平成26年8月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第2四半期	3,004,423	7.0	167,225	1.6	167,237	1.5	83,901	0.7
26年2月期第2四半期	2,807,664	14.6	164,583	11.8	164,813	12.0	83,352	24.6

(注)包括利益 27年2月期第2四半期 70,534百万円 (△51.3%) 26年2月期第2四半期 144,911百万円 (77.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第2四半期	94.90	94.82
26年2月期第2四半期	94.34	94.27

※セブン-イレブン・ジャパン及び7-Eleven, Inc.におけるチェーン全店売上を含めたグループ売上:

平成27年2月期第2四半期: 5,082,915百万円(前年同期比7.0%増)

平成26年2月期第2四半期: 4,752,416百万円(前年同期比13.1%増)

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年2月期第2四半期	5,035,088	2,259,438	42.4	2,412.53
26年2月期	4,811,380	2,221,557	43.6	2,371.92

(参考)自己資本 27年2月期第2四半期 2,132,840百万円 26年2月期 2,095,746百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	33.00	—	35.00	68.00
27年2月期	—	36.50	—	—	—
27年2月期(予想)	—	—	—	36.50	73.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年2月期の連結業績予想(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,130,000	8.8	356,000	4.8	354,000	4.4	184,000	4.7	208.13

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※セブン-イレブン・ジャパン及び7-Eleven, Inc.におけるチェーン全店売上を含めたグループ売上予想:

通期: 10,200,000百万円(前年同期比6.3%増)

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 一社 (社名) 、 除外 1社 (社名) 株式会社セブンネットショッピング
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年2月期2Q	886,441,983 株	26年2月期	886,441,983 株
② 期末自己株式数	27年2月期2Q	2,372,472 株	26年2月期	2,876,349 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年2月期2Q	884,060,592 株	26年2月期2Q	883,560,720 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に掲載されている業績予想は、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画のもととなる前提、予測を含んで記載しております。実際の業績は、今後様々な要因によって本資料に記載した予想とは異なる可能性があります。
2. 決算補足資料は当社ホームページ(<http://www.7andi.com/ir/library/kh/201502.html>)に掲載しております。また、平成26年10月3日(金)に開催予定の決算説明会にて使用する業績に関する資料につきましては、開催後、速やかに当社ホームページに掲載いたします。

**【添付資料】**

[目次]

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	5
2. サマリー情報(その他)に関する事項	
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	12
(5) セグメント情報	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

#### ① 当第2四半期連結累計期間(平成26年3月1日～平成26年8月31日)の業績概況

当第2四半期連結累計期間における小売業を取り巻く経済環境は、政府の景気対策等の効果もあり緩やかな景気回復基調が続いたものの、個人消費におきましては平成26年4月の消費税増税に伴う駆け込み需要とその反動に加え、夏場の天候不順による影響がありました。

このような環境の中、当社グループにおきましては消費税増税に伴う消費環境の変化に対応し、付加価値の高い商品の開発や地域特性に合わせた品揃えの強化、接客力の向上に取り組んでまいりました。グループのプライベートブランドである「セブンプレミアム」やグループ各社のオリジナル商品につきましては、新商品の開発を推進するとともに既存商品のリニューアルを実施し、品質の向上と新しい価値の提案を図りました。なお、当第2四半期連結累計期間における「セブンプレミアム」の売上は4,020億円(前年同期比23.7%増)となり、年間計画8,000億円に対して順調に推移いたしました。

また、当社グループはグループ横断的な取り組みとしてオムニチャネル戦略を推進しており、当第2四半期連結累計期間におきましては当社及び各事業会社におけるオムニチャネル推進部門の体制を強化いたしました。セブン-イレブン店舗におきましては、「街の本屋」として書籍や雑誌の受け取りサービスを強化するとともに、株式会社ロフトや株式会社赤ちゃん本舗等の商品の受け取りサービスなどを推進いたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における当社の連結業績は以下のとおりとなりました。

営業収益は、主にコンビニエンスストア事業の増収と通信販売事業の新規連結により3兆44億23百万円(前年同期比7.0%増)となりました。

営業利益は、コンビニエンスストア事業と金融関連事業を中心に増益となり、1,672億25百万円(同1.6%増)、経常利益は1,672億37百万円(同1.5%増)、四半期純利益は839億1百万円(同0.7%増)となりました。

当第2四半期連結累計期間における営業収益、営業利益、経常利益、四半期純利益はそれぞれ過去最高の数値を達成いたしました。

株式会社セブン-イレブン・ジャパンと7-Eleven, Inc. におけるチェーン全店売上を含めた「グループ売上」は、5兆829億15百万円(同7.0%増)となりました。なお、当第2四半期連結累計期間における為替レート変動に伴う影響により、営業収益を691億円、営業利益を12億円押し上げております。

(単位:百万円)

	平成26年2月期第2四半期		平成27年2月期第2四半期	
		前年同期比		前年同期比
営業収益	2,807,664	14.6%増	3,004,423	7.0%増
営業利益	164,583	11.8%増	167,225	1.6%増
経常利益	164,813	12.0%増	167,237	1.5%増
四半期純利益	83,352	24.6%増	83,901	0.7%増

為替レート	U.S.\$1=95.73円	U.S.\$1=102.46円
	1元=15.49円	1元=16.64円

#### ② セグメント別の営業概況

##### コンビニエンスストア事業

コンビニエンスストア事業における営業収益は1兆3,679億95百万円(前年同期比7.1%増)、営業利益は1,368億87百万円(同6.3%増)となりました。

セブン-イレブン・ジャパンは平成26年3月に愛媛県へ出店地域を拡大するとともに、JR西日本グループ及びJR四国グループとの業務提携による出店を開始するなど積極的な出店(894店舗)を推進した結果、同年8月末時点の店舗数は43都道府県で17,013店舗(前期末比694店舗増)となりました。商品面では、ファスト・フード等のオリジナル商品の開発やリニューアルを積極的に推進するとともに、「セブンプレミアム」及び「セブンゴールド」の品揃えを強化いたしました。また、地域のお客様の嗜好に合わせた商品開発にも注力しており、同年3月には商品開発や店舗運営、店舗開発等が一体となっ

た組織形態として「西日本プロジェクト」を設置するなど、これまで以上に地域に根ざした取り組みを推進いたしました。さらに、上質なセルフ式のドリップコーヒー「SEVEN CAFÉ(セブカフェ)」は認知度の向上や2台目設置店舗の拡大により、販売数は大幅に伸ばいたしました。

これらの結果、既存店売上伸び率は平成24年8月以来25ヶ月連続で前年を上回って推移いたしました。また、自営店と加盟店の売上を合計したチェーン全店売上は2兆224億79百万円(前年同期比6.4%増)となりました。

北米の7-Eleven, Inc.は平成26年6月末時点で8,309店舗(前期末比17店舗増)を展開しております。店舗面では、都市部への出店を推進するとともに、店舗毎の収益性を重視し既存店や買取店の一部を閉店及び売却いたしました。販売面では、ホットフードなどのファスト・フード商品やプライベートブランドの開発及び販売に注力したことなどにより、当第2四半期連結累計期間におけるドルベースの米国内既存店商品売上伸び率は前年を上回りました。なお、自営店と加盟店の売上を合計したチェーン全店売上は、商品売上が伸ばしたことにより、1兆3,857億66百万円(前年同期比7.7%増)となりました。

中国におきましては、平成26年6月末時点で北京市に160店舗、天津市に54店舗、成都市に80店舗を運営しております。

### スーパーストア事業

スーパーストア事業における営業収益は1兆20億63百万円(前年同期比0.5%増)、営業利益は91億83百万円(同22.2%減)となりました。

国内の総合スーパーである株式会社イトーヨーカ堂は、平成26年8月末時点で180店舗(前期末比1店舗増)を運営しております。販売面におきましては、衣料品分野で婦人ファッション「GALLORIA(ギャローリア)」や紳士ファッション「KENT(ケント)」等のプライベートブランド商品の開発及び販売を推進いたしました。また、地域特性に合わせた品揃えを強化するため、同年3月に「西日本事業部」を立ち上げるとともに、東北地域においてもグループ力を活用した品揃えや店舗運営に注力いたしました。当第2四半期連結累計期間の既存店売上伸び率は、増税前の駆け込み需要の反動減に加え夏場の天候不順の影響により前年を下回りました。

国内の食品スーパーにおきましては、平成26年8月末時点で株式会社ヨークベニマルが南東北地方を中心に194店舗(前期末比1店舗増)、株式会社ヨークマートが首都圏に75店舗(前期末比1店舗増)を運営しております。ヨークベニマルでは生鮮品や子会社の株式会社ライフフーズが製造及び販売する惣菜を中心に生活提案型の売り方を強化するとともに、即食・簡便のニーズに対応した商品や「セブンプレミアム」の販売を拡大いたしました。これらの結果、当第2四半期連結累計期間の既存店売上伸び率は前年を上回りました。

ベビー・マタニティ用品を販売する赤ちゃん本舗は、平成26年8月末時点で96店舗(前期末比3店舗増)を運営しております。

中国におきましては、平成26年6月末時点で四川省成都市に総合スーパー6店舗、北京市に総合スーパー8店舗をそれぞれ展開しております。

### 百貨店事業

百貨店事業における営業収益は4,231億44百万円(前年同期比0.3%増)、92百万円の営業損失となりました。

株式会社そごう・西武は、平成26年8月末時点で24店舗を運営しております。販売面におきましては、「リミテッドエディション」を中心とした自主企画商品及び自主編集売場の拡大を進めるとともに、百貨店ならではの質の高い接客と、ファッションアテンダントなどの専門販売員によるトータルアドバイス機能の拡充を図りました。当第2四半期連結累計期間における既存店売上伸び率は、増税前の駆け込み需要に伴いラグジュアリーブランドや美術・宝飾品の販売が伸ばしたことに加え、8月下旬の気温低下と販促効果により秋物商品の売上が好調に推移した結果、前年を上回りました。

生活雑貨専門店を展開するロフトは、平成26年8月末時点で92店舗(前期末比3店舗増)を運営しております。

### フードサービス事業

フードサービス事業における営業収益は413億22百万円(前年同期比1.5%増)、営業利益は人件費等の経費の増加により25百万円(前年同期比97.0%減)となりました。

株式会社セブン&アイ・フードシステムズにおきましては、レストラン事業部門が平成26年8月末時点で473店舗(前期

末比3店舗増)を運営しております。当第2四半期連結累計期間におけるレストラン事業部門の既存店売上伸び率は、夏の天候不順による影響がありましたが、主力メニューアイテムの強化や接客力の向上などが奏功したことにより前年を上回りました。

### 金融関連事業

金融関連事業における営業収益は881億57百万円(前年同期比12.5%増)、営業利益は240億6百万円(同5.0%増)となりました。

株式会社セブン銀行における平成26年8月末時点のATM設置台数は、主にセブン・イレブン・ジャパンの積極的な出店や提携先の拡大等により前期末比880台増の20,274台となりました。また、当第2四半期連結累計期間中のATM1日1台当たり平均利用件数は、一部提携銀行の顧客手数料有料化の影響等により102.9件(前年同期差8.6件減)となりましたが、期間平均手数料単価は上昇いたしました。

カード事業会社2社におきましては、クレジットカード事業、電子マネー事業とも好調に推移いたしました。クレジットカード事業におきましては、株式会社セブン・カードサービスが発行する「セブンカード」と株式会社セブンCSカードサービスが発行する「クラブ・オン/ミレニアムカード セゾン」の取扱高はショッピングを中心に前年を上回って推移いたしました。電子マネー事業におきましては、セブン・カードサービスが「nanaco」のグループ内外への拡大を積極的に推進いたしました。

### 通信販売事業

通信販売事業における営業収益は908億80百万円、30億44百万円の営業損失となりました。

株式会社ニッセンホールディングスは、収益性の改善に努めるとともにグループシナジー効果の実現に向けた取り組みを進めました。当第2四半期連結累計期間におきましては、グループ各社の店頭におけるニッセンカタログの配布に加え、イトーヨーカドー店内にインテリアショールームを導入いたしました。

### その他の事業

その他の事業における営業収益は276億11百万円(前年同期比11.6%増)、営業利益は18億9百万円(同34.5%増)となりました。

IT/サービス事業では、株式会社セブン&アイ・ネットメディアが株式会社セブンネットショッピングと平成26年3月1日に合併し、オムニチャネル戦略を強力に推進する体制を整備いたしました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

### (連結財政状態)

総資産は、前期末に比べ2,237億7百万円増の5兆350億88百万円となりました。流動資産は現金及び預金、有価証券の合計が708億69百万円増加したことなどにより、1,895億48百万円増加しました。負債は、主に季節要因による支払手形及び買掛金と預り金の増加等により、前期末に比べ1,858億25百万円増の2兆7,756億49百万円となりました。純資産は為替換算調整勘定が減少したものの、四半期純利益の計上等により、前期末に比べ378億81百万円増の2兆2,594億38百万円となりました。

(単位:百万円)

	平成26年2月期末	平成27年2月期 第2四半期末	増減
総資産	4,811,380	5,035,088	223,707
負債	2,589,823	2,775,649	185,825
純資産	2,221,557	2,259,438	37,881

為替レート	U.S.\$1=105.39円	U.S.\$1=101.36円
	1元=17.36円	1元=16.32円

(連結キャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益や減価償却費の計上等により2,675億69百万円の収入となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、主に店舗の新規出店に伴う有形固定資産の取得による支出等により1,539億55百万円の支出となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払い等により366億20百万円の支出となりました。なお、財務活動によるキャッシュ・フローは、前第2四半期連結累計期間において当社による社債の発行による収入があったことなどにより、前第2四半期連結累計期間に比べ706億12百万円減少いたしました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第2四半期末残高は9,955億10百万円となりました。

(単位:百万円)

	平成26年2月期 第2四半期	平成27年2月期 第2四半期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	311,205	267,569	△43,635
投資活動によるキャッシュ・フロー	△161,388	△153,955	7,432
財務活動によるキャッシュ・フロー	33,991	△36,620	△70,612
現金及び現金同等物の四半期末残高	989,737	995,510	5,772

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成27年2月期の連結業績予想につきましては、平成26年4月3日発表の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当社の特定子会社であった株式会社セブンネットショッピングは、平成26年3月1日付で当社の連結子会社である株式会社セブン&アイ・ネットメディアを存続会社とする吸収合併により消滅し、第1四半期連結会計期間より特定子会社から除外されております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	792,986	853,856
受取手形及び売掛金	327,072	342,367
営業貸付金	66,230	68,198
有価証券	150,000	160,000
商品及び製品	198,847	194,206
仕掛品	210	13
原材料及び貯蔵品	3,060	3,290
前払費用	42,984	50,727
繰延税金資産	40,812	39,459
その他	282,880	382,636
貸倒引当金	△5,529	△5,650
流動資産合計	1,899,556	2,089,105
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	749,201	766,162
工具、器具及び備品(純額)	232,991	250,230
土地	681,651	688,206
リース資産(純額)	18,491	15,316
建設仮勘定	25,171	31,307
その他(純額)	2,482	2,071
有形固定資産合計	1,709,990	1,753,295
無形固定資産		
のれん	277,943	260,958
ソフトウェア	43,428	46,583
その他	146,576	144,052
無形固定資産合計	467,947	451,594
投資その他の資産		
投資有価証券	189,102	201,969
長期貸付金	17,868	17,879
前払年金費用	31,822	32,585
差入保証金	402,878	397,955
建設協力金	591	680
繰延税金資産	32,836	32,053
その他	65,552	64,210
貸倒引当金	△6,966	△6,389
投資その他の資産合計	733,685	740,943
固定資産合計	2,911,623	2,945,834
繰延資産		
創立費	14	7
開業費	186	141
繰延資産合計	200	148
資産合計	4,811,380	5,035,088

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	383,972	460,675
短期借入金	116,147	120,710
1年内返済予定の長期借入金	100,775	56,353
1年内償還予定の社債	20,000	59,998
未払法人税等	62,625	42,622
未払費用	97,543	96,562
預り金	154,795	240,557
販売促進引当金	16,909	21,189
賞与引当金	14,773	15,714
役員賞与引当金	372	172
商品券回収損引当金	2,932	2,625
返品調整引当金	205	217
銀行業における預金	403,062	419,460
その他	254,051	307,162
流動負債合計	1,628,167	1,844,024
固定負債		
社債	364,987	304,990
長期借入金	332,485	368,508
繰延税金負債	51,220	51,921
退職給付引当金	6,853	6,808
役員退職慰労引当金	2,019	2,051
長期預り金	55,046	55,333
資産除去債務	60,376	62,217
その他	88,666	79,793
固定負債合計	961,656	931,624
負債合計	2,589,823	2,775,649
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	526,850	527,470
利益剰余金	1,511,555	1,564,566
自己株式	△7,109	△5,869
株主資本合計	2,081,295	2,136,166
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,672	13,455
繰延ヘッジ損益	△6	△328
為替換算調整勘定	3,785	△16,453
その他の包括利益累計額合計	14,450	△3,326
新株予約権	1,944	2,448
少数株主持分	123,866	124,149
純資産合計	2,221,557	2,259,438
負債純資産合計	4,811,380	5,035,088

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
営業収益	2,807,664	3,004,423
売上高	2,337,457	2,488,652
売上原価	1,854,068	1,961,239
売上総利益	483,388	527,412
営業収入	470,207	515,770
営業総利益	953,596	1,043,183
販売費及び一般管理費	789,012	875,957
営業利益	164,583	167,225
営業外収益		
受取利息	2,751	2,967
持分法による投資利益	2,067	249
その他	3,255	2,258
営業外収益合計	8,074	5,475
営業外費用		
支払利息	3,299	3,245
社債利息	1,458	1,337
その他	3,086	880
営業外費用合計	7,845	5,463
経常利益	164,813	167,237
特別利益		
固定資産売却益	421	642
投資有価証券売却益	39	242
補助金収入	1,881	-
その他	16	67
特別利益合計	2,358	952
特別損失		
固定資産廃棄損	4,709	6,330
減損損失	5,209	6,653
消費税率変更に伴う費用	-	2,031
固定資産圧縮損	1,881	-
その他	4,418	2,580
特別損失合計	16,219	17,597
税金等調整前四半期純利益	150,953	150,592
法人税、住民税及び事業税	61,565	58,267
法人税等調整額	△459	3,207
法人税等合計	61,106	61,475
少数株主損益調整前四半期純利益	89,847	89,117
少数株主利益	6,494	5,215
四半期純利益	83,352	83,901

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	89,847	89,117
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,502	2,755
繰延ヘッジ損益	0	△611
為替換算調整勘定	52,474	△20,735
持分法適用会社に対する持分相当額	86	9
その他の包括利益合計	55,064	△18,582
四半期包括利益	144,911	70,534
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	136,989	66,124
少数株主に係る四半期包括利益	7,922	4,410

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	150,953	150,592
減価償却費	71,640	83,694
減損損失	5,209	6,653
のれん償却額	9,048	9,450
受取利息	△2,751	△2,967
支払利息及び社債利息	4,758	4,583
持分法による投資損益(△は益)	△2,067	△249
固定資産売却益	△421	△642
固定資産廃棄損	4,709	6,330
補助金収入	△1,881	—
固定資産圧縮損	1,881	—
売上債権の増減額(△は増加)	△26,258	△16,345
営業貸付金の増減額(△は増加)	284	△1,967
たな卸資産の増減額(△は増加)	△4,746	2,625
仕入債務の増減額(△は減少)	74,207	79,873
預り金の増減額(△は減少)	49,535	60,517
銀行業における借入金の純増減(△は減少)	△6,900	△7,000
銀行業における社債の純増減(△は減少)	55,000	△20,000
銀行業における預金の純増減(△は減少)	40,901	16,398
銀行業におけるコールローンの純増減(△は増加)	—	3,000
銀行業におけるコールマネーの純増減(△は減少)	△38,700	22,000
A T M未決済資金の純増減(△は増加)	△34,172	△51,333
その他	8,484	3,622
小計	358,715	348,837
利息及び配当金の受取額	1,945	2,214
利息の支払額	△4,710	△5,353
法人税等の支払額	△44,744	△78,127
営業活動によるキャッシュ・フロー	311,205	267,569
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△156,472	△140,827
有形固定資産の売却による収入	2,775	2,421
無形固定資産の取得による支出	△7,625	△12,821
投資有価証券の取得による支出	△85,652	△22,355
投資有価証券の売却による収入	84,503	13,321
子会社株式の取得による支出	△22	△351
差入保証金の差入による支出	△16,132	△13,179
差入保証金の回収による収入	23,101	19,480
預り保証金の受入による収入	1,982	1,909
預り保証金の返還による支出	△2,218	△1,428
事業取得による支出	△6,077	△98
定期預金の預入による支出	△5,569	△4,556
定期預金の払戻による収入	8,982	6,687
その他	△2,963	△2,156
投資活動によるキャッシュ・フロー	△161,388	△153,955

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△14,600	4,562
長期借入れによる収入	47,500	66,800
長期借入金の返済による支出	△31,407	△64,825
コマーシャル・ペーパーの発行による収入	171,337	12,601
コマーシャル・ペーパーの償還による支出	△162,053	△12,601
社債の発行による収入	99,700	—
社債の償還による支出	△40,000	—
配当金の支払額	△29,132	△30,902
少数株主からの払込みによる収入	0	26
少数株主への配当金の支払額	△3,230	△3,205
その他	△4,123	△9,075
財務活動によるキャッシュ・フロー	33,991	△36,620
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,841	△2,916
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	189,649	74,077
現金及び現金同等物の期首残高	800,087	921,432
現金及び現金同等物の四半期末残高	989,737	995,510

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年8月31日) (単位:百万円)

	報告セグメント						計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	コンビニ エンス ストア事業	スーパー ストア 事業	百貨店事業	フード サービス 事業	金融関連 事業	その他の 事業			
営業収益									
外部顧客への営業収益	1,276,970	992,389	420,877	40,287	66,310	10,829	2,807,664	—	2,807,664
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	230	4,441	804	431	12,042	13,909	31,858	△ 31,858	—
計	1,277,201	996,830	421,681	40,718	78,352	24,738	2,839,523	△ 31,858	2,807,664
セグメント利益又は損失(△)	128,775	11,810	△ 550	865	22,856	1,345	165,101	△ 517	164,583

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△517百万円は、セグメント間取引消去および全社費用であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年8月31日) (単位:百万円)

	報告セグメント							計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	コンビニ エンス ストア事業	スーパー ストア 事業	百貨店事業	フード サービス 事業	金融関連 事業	通信販売 事業	その他の 事業			
営業収益										
外部顧客への営業収益	1,367,655	998,187	422,058	40,937	72,896	90,786	11,901	3,004,423	—	3,004,423
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	339	3,875	1,086	384	15,261	94	15,710	36,752	△ 36,752	—
計	1,367,995	1,002,063	423,144	41,322	88,157	90,880	27,611	3,041,175	△ 36,752	3,004,423
セグメント利益又は損失(△)	136,887	9,183	△ 92	25	24,006	△ 3,044	1,809	168,776	△ 1,550	167,225

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,550百万円は、セグメント間取引消去および全社費用であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な影響を及ぼすものではありません。

(参考情報)

所在地別の営業収益および営業利益は以下のとおりであります。

前第2四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年8月31日) (単位:百万円)

	日本	北米	その他の地域	計	消去	連結
営業収益						
外部顧客への営業収益	1,822,906	927,758	56,999	2,807,664	—	2,807,664
所在地間の内部営業収益 又は振替高	392	59	—	452	△ 452	—
計	1,823,298	927,818	56,999	2,808,116	△ 452	2,807,664
営業利益又は損失(△)	149,273	16,289	△ 995	164,567	16	164,583

当第2四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年8月31日) (単位:百万円)

	日本	北米	その他の地域	計	消去	連結
営業収益						
外部顧客への営業収益	1,955,328	986,115	62,979	3,004,423	—	3,004,423
所在地間の内部営業収益 又は振替高	548	78	479	1,107	△ 1,107	—
計	1,955,877	986,193	63,458	3,005,530	△ 1,107	3,004,423
営業利益又は損失(△)	148,906	19,324	△ 1,001	167,229	△ 3	167,225

(注) 1 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 その他の地域に属する国は、中国等であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。